

TM ご使用上のお願い

統合開発環境TMとM32RファミリCコンパイラパッケージM3T-CC32Rを組み合わせて使用する場合の注意事項を連絡します。

- 依存関係の更新についての注意事項

1. 該当製品

- (1) TM V.3.20 または V.3.20A と M3T-CC32R V.4.20 Release 1
- (2) TM V.3.20 または V.3.20A と 機能強化パッチ(*) を適用した M3T-CC32R V.2.10 Release 1～V.4.00 Release 1のいずれか

* 「依存関係の更新」機能を強化するパッチツール。
詳細は 2002年12月16日付けMAEC TOOL NEWS "TM V.3.20, Windows版 M3T-CC32R, M3T-NC308WA, M3T-NC30WA 日本語版・英語版 機能強化パッチツール リリースのお知らせ" を参照ください。

2. 内容

C言語ソースファイルの#include文に、絶対パス付きでインクルードファイルを記述して、依存関係の更新を行った時、ソースファイルの依存関係にそのインクルードファイルが追加されません。

3. 回避策

C言語ソースファイルの#include文は、以下のいずれかで記述してください。

インクルードファイルがC言語ソースファイルとは別ドライブにある場合は、(2)の方法で記述してください。

- (1) C言語ソースファイルからの相対パス付きでインクルードファイル名を記述する。
- (2) インクルードファイル名のみ記述する場合は、コンパイルオプション-I を使用してください。このオプションは、インクルードファイルを検索する対象ディレクトリを絶対パスまたは相対

パスで指定できます。相対パス指定のカレントディレクトリは、ワーキングディレクトリ（プロジェクトを作成したディレクトリ）になります。

4. 恒久対策

本内容は、次期バージョンアップの際に改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.